志賀原発の再稼働反対・廃炉を求める署名

石川県知事　　谷本　正憲　殿

福島第一原発の事故により、福島県では県内外へ15万人が避難を余儀なくされ、ふるさとから離れた地で先が見えない生活を強いられています。福島第一原発では高濃度の放射性物質をふくむ汚染水が大量に海へ流出しているなど、収束には程遠い状況です。

政府は、原子力規制委員会が策定した「新規制基準」をテコに、原発再稼働や新増設、原発輸出を公言し、従来の推進路線を継続しようとしています。しかし「新規制基準」は、小手先の対策をならべたものにすぎません。福島原発事故の原因が究明されないもとで、「世界最高水準の安全」といって再稼働することなど許されません。

ここ石川の志賀原発は、北側約9㎞の「富来川南岸断層」が活断層であるということが、住民運動と専門家の調査によって明らかにされました。志賀原発では重大な事故がくり返されており、過去にも臨界事故隠しをするなど、安全よりも利益追求を優先する北陸電力の姿勢が厳しく批判されています。

志賀原発をはじめとする原発がなくても、電力供給に問題はないことは、この間の経験で証明済みです。再生可能エネルギーの普及を通じて新たな事業と雇用を増やし、地域の持続可能な発展の道も大きく広がっていきます。

以上をふまえて、私たちは、原発の再稼働を断念し、すべての原発からただちに撤退する決断を行うことを要求します。

１．志賀原発の再稼働は決して行わず、廃炉にすること。再生可能エネルギーの積極的な推進をはかること。

２．原発の危険から、住民の命と安全をまもる万全の対策を講じること。

３．国に対して全ての原発を今すぐ廃炉にするとともに、再生可能エネルギーの急速な普及を進めるよう求めること。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 住所 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**署名推進呼びかけ人**

浅妻南海江(ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄｹﾞﾝ代表)、海部公子(九谷焼画工)、飯森和彦(弁護士)、五十嵐正博(神戸大学名誉

教授)、井上英夫(金沢大学名誉教授)、江守道子(歯科医師)、大森定嗣(石川県原水協代表)、岡井直道(か

なざわ演劇人協会)、小野栄子(福島県出身)、かつおきんや(児童文学者)、金森俊朗(石川県民教育文化セ

ンター)、河﨑俊栄(石川県宗教者平和協議会)、佐藤清(原発問題住民運動石川県連絡センター)、

志田弘子(加賀友禅作家)、白﨑良明(医師)、菅野昭夫(弁護士)、田口昭典(金沢キリスト教会牧師)、

鳥毛美範(弁護士)、直江俊一(金沢大学名誉教授)、西田直巳(医師)、西本多美子(被爆者)、橋本哲哉(金沢

大学名誉教授)、松浦健伸(医師)、吉田　均(原発の危険から子どもを守る北陸医師の会代表) 　（50音順）

取り扱い団体　　志賀原発の再稼働反対･廃炉を求める10万人署名推進委員会

事務局　原発をなくす石川県連絡会　　石川県金沢市昭和町5-13石川県労連内 Tel076-231-3199